

タイトル	桑原俊一教授挨拶、略歴・研究業績
著者	桑原, 俊一; KUWABARA, Toshikazu
引用	北海学園大学人文論集(48): 5-10
発行日	2011-03-31



桑原 俊一教授

# あらためてチェンジ

— 退職にあたって —

jucundi acti labores 過ぎし労苦は快し

(Cicero, De Finibus)

桑原俊一



1975年日本が高度成長期に向かう頃、わたしはカリフォルニアの大学院で学んでいました。サンフランシスコを南に車で15分ほどペーブリッジを渡ると、カリフォルニア大学バークレー校に隣接した、俗にホーリー・ヒルズと呼ばれる丘があります。エキメニユカルな大学院が集まり単位互換制を導入していて大変実りある勉学と研究の時代を過しました。80年代日本はバブルの時代で、ロスアンゼルスやサンフランシスコでも日本からの銀行が次々と銀行を買収し、莫大な不動産投資が行われていました。帰国したのは90年代日本経済のバブルがはじけて数年後でした。そのころ一部の識者を除いて、少子化や高齢者人口の増大による国の財政危機など声高に唱える政治家は皆無でした。

1995年北海学園大学に赴任したころ、人文学部は活気に満ちていました。学生も教員・事務職員も当時掲げていた学部のスローガンを実現するため、いまだ踏み固められてはいない径を創るため一体となってエネルギーを発散させていました。換言すれば少なくとも現状維持は取れなかったのです。それ自体問題がなかったわけではありませんが、北海道からチェンジを求めて、出発した学部であったことは確かです。

当時は今日いわれる内向きの学生より外向きの学生が多かったように思います。北海道をこよなく愛し、道内に留まろうとする道内思考が問題なのではありません。学部は道内においても外向きの学生、つまり挑戦者と

して開拓者精神を掲げた学生で満ち溢れていました。結果はどうであれ、海外留学を志す者、教職を目指すもの、マスコミ・出版社など高い目標に向かって就活する学生たちが目立ちました。われわれ教職員は彼らをどれほどバククアップ出来たかといえば疑問符がつくかもしれません。しかし、われわれ教職員も必死で彼らに応えようと試行錯誤の毎日でした。今日でこそ国際化等という言葉は退色してしまいましたが、ご承知の通りグローバル化と名称を変えてお流行りです。このことはいずれにせよ、われわれが世界の中の日本人を意識せざるを得ないことを示してのだと思います。札幌の交通機関の駅名やホテルにはローマ字表記と並んでハングルや中国語の表記も一般的になってきています。社内の会議は英語にしたり、総合職の社員は TOEIC の点数を 800 点に設定するといった企業も現れています。日本文化学科であれ、英米文化学科であれ近隣諸国の言語の獲得は必携となることでしょう。いわゆる失われた 20 年のなかで地殻変動とさえいわれる社会問題が顕現化しています。教育環境も大きく変化しています。これからの大学の在り方はその確かな方向性を見出しにくいところに問題がありそうです。変革の時代の嵐のなかで、数年後には人文部創設 20 周年を迎えることとなります。創設時のスローガンはともかく、当初どんな学部創設を目指して出発したのか原点に戻って現状を再確認し、更なるチェンジと発展につなげてほしいと願っています。

あれから 16 年が経過しました。人文学部創設に係わった諸先生方も大方退職され、当時を知る教員も僅かになりました。他学部に比べ少人数の教職員であったため、それだけ密度の濃い交わりを頂いたと思っています。わが身を振り返って研究と教育は十分であったかといえば、それに見合った貢献は出来なかったというのが率直の感想です。それにもかかわらず大過なく今日を迎えることができましたことは一重に教職員皆様方のご支援があればこそと感謝の念で一杯です。暫くは札幌におりますのでまた学園大学に寄せて頂く事があろうかと思えます。皆様方のご健勝と人文学部の益々のご発展をお祈りいたします。

# 略 歴

桑原俊一 1942年5月20日

## 学 歴

- 1967年3月 東京経済大学経済学部卒業
- 1969年3月 日本三育学院神学専攻科卒業
- 1972年3月 青山学院大学大学院文学研究科修士課程修了
- 1975年3月 青山学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学
- 1977年9月 太平洋神学校大学院 CSS（特別研究科）修了
- 1981年6月 カリフォルニア大学（バークレー校）大学院中近東学研究科博士課程修了
- 1991年5月 博士（Ph.D. カリフォルニア大学）

## 職 歴

- 1972年4月 日本三育学院非常勤講師
- 1973年3月 米国合同メソジスト教会副牧師
- 1981年6月 米国合同メソジスト教会牧師
- 1989年8月 カリフォルニア大学バークレー校研究助手
- 1989年9月 カリフォルニア州立大学サクラメント校講師
- 1991年9月 カリフォルニア州立大学サクラメント校準教授
- 1992年4月 北海学園北見大学教授
- 1995年4月 北海学園大学教授
- 2004年4月 人文学部長兼務（2007年3月まで）

## 主な研究業績

### [ I . 著書 ]

*The Netherworld in Sumero-Akkadian Literature*, 1991年5月, U.M.I.  
(Ann Arbor, Michigan)

### [ II . 論文 ]

1. ヘブル詩における韻律法—その形式と内容の間『基督論集』18号, 1972年3月, 青山学院大学基督教学会, 12-29頁。
2. 旧約聖書研究案内—エレミヤにおける修辭的疑問文の用法『聖書と教会』8号, 1973年8月, 日本基督教団出版局, 47-58頁。
3. A Comparison of the Concept of the Earth in Sumero-Akkadian Literature and in the Old Testament *Annual Journal Japanese Biblical Institute* vol. 20, 1995年3月, Yamamotoshoten, 45-58頁。
4. A Study of Terminology of the Netherworld in Sumro-Akkadian Literature (1)『人文論集』8号, 1997年3月, 北海学園大学人文学会, 1頁-36頁。
5. A Study of Terminology of the Netherworld in Sumro-Akkadian Literature (2)『人文論集』11号, 1998年3月, 北海学園大学人文学会, 271頁-296頁。
6. A Study of Terminology of the Netherworld in Sumro-Akkadian Literature (3)『人文論集』12号, 1999年3月, 北海学園大学人文学会, 65頁-91頁。
7. A Study of Terminology of the Netherworld in Sumro-Akkadian Literature (4)『人文論集』13号, 1999年7月, 北海学園大学人文学会, 87頁-118頁。
8. 死に行く神の伝播とイスラエルの神—嘆きの女性をめぐる—『人文論集』15号, 2000年3月, 北海学園大学人文学会, 129頁-146頁。
9. 交錯することは—地中海文明と文字の伝播—『人文論集』19号, 2001年

- 7月, 北海学園大学人文学会, 29頁-63頁。
10. 古代メソポタミアにおける冥界—古代ギリシア・ローマの冥界間を視座に—『人文論集』23・24合併号, 2002年3月, 北海学園大学人文学会, 65頁-86頁。
  11. シュメール文学概説—冥界にかかわる作品(1)—『人文論集』26・27合併号, 2004年3月, 北海学園大学人文学会, 1頁-36頁。
  12. 創世神話の系譜—古代メソポタミアの資料から—(1)『人文論集』31号, 2005年7月, 北海学園大学人文学会, 1頁-17頁。
  13. 創世神話の系譜—古代メソポタミアの資料から—(2)『人文論集』36号, 2007年7月, 北海学園大学人文学会, 63頁-83頁。
  14. 創世神話の系譜—古代メソポタミアの資料から—(3)『人文論集』39号, 2008年3月, 北海学園大学人文学会, 175頁-197頁。
  15. 文字から探るフェニキア語の世界 月刊『言語』vol.37. No.12, 2008年12月, 大修館書房, 84-87頁。
  16. 古代社会の教育—古代メソポタミアの資料を中心に—『年報：新人文学』第5号, 2008年12月, 北海学園大学大学院文学研究科, 32-88頁。
  17. 文字の起源—古代オリエントの文字からギリシア・アルファベット文字へ—『人文論集』42号, 2009年3月, 北海学園大学人文学会, 127頁-160頁。
  18. アトラ・ハシース叙事詩 (Atra-hasis) (1)『人文論集』43号, 2009年7月, 北海学園大学人文学会, 1頁-26頁。
  19. アトラ・ハシース叙事詩 (Atra-hasis) (2)『人文論集』44号, 2009年11月, 北海学園大学人文学会, 29頁-59頁。
  20. アトラ・ハシース叙事詩 (Atra-hasis) (3)『人文論集』45号, 2010年3月, 北海学園大学人文学会, 113頁-141頁。
  21. 日本正教会と北海道—前史から函館のニコライへ『開発論集』第85号, 2010年3月, 北海学園大学開発研究所, 197-211頁。
  22. アトラ・ハシース叙事詩 (Atra-hasis) (4)『人文論集』46号, 2010年7月, 北海学園大学人文学会, 41頁-71頁。

### [Ⅲ. その他]

1. 冥界とトンネルーギルガメシュ叙事詩考『地中海学会会報』158, 1990年9月, 5頁。
2. チャイルドリッシュ ジャパニーズ『週間エコノミスト』9月20日号, 1993年9月, 毎日新聞社, 66-71頁。
3. 夢と挫折ーワカマツコロニーの場合ー「講演収録平成9年」北海道日米協会, 1996年7月, 1-3頁。
4. ブーゲンベリアとつるバラの咲く丘人『文フォーラム 15』2001年8月, 北海学園大学人文学部, 2-3頁。
5. 洪水伝承と『キルガメシュ叙事詩』『図書館だより』第23巻4号, 2002年12月, 北海学園大学附属図書館, 4頁。
6. 書評ー山我哲雄『旧約聖書 民数記』『基督教学』第38号, 2003年6月, 北海道基督教学会, 23-27頁。
7. 人文学部の13年ーグローバル化と地域の期待の中でー「第4回 日露国際シンポジウム」, 2005年10月, 104-105頁。
8. 欧米文化の窓ー古代メソポタミア文化との対話の愉しみ『豊平会報』第61号, 2008年9月, 10頁。
9. 私が薦めるこの1冊: 森有正『バビロンの流れのほとりにて』『図書館便り』第31巻2号, 2009年9月, 北海学園大学附属図書館, 4頁。
10. 1873年12月3日のこと『年報: 新人文学』第7号, 2010年12月, 北海学園大学大学院文学研究科, 2-5頁。